SOMA

取扱説明書

WJ24 [JS024]

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
この取扱説明書は保証書と一体になっております。
必ず、お買い上げ日、販売店名の記入をお確かめください。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご使用ください。お買い物上げます。
なお、この説明書は お手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

※ 金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご聴衆、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。
※ 商品に傷防止用の保護シールがはがしている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はがしたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが originalしてご使用の原因となります。

保証書

GUARANTEE

本保証書は日本国内でのみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.

製品名			
個別番号		製造番号	
お客様	〒 TEL:		様方
	ご住所		
	ご氏名		様
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より 1 年間
販売店	〒 TEL:		

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
お客様情報につきましては、アフターサービス目的にのみ使用いたします。

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
お買い上げ後 1 年間の保証期間内に、製品説明書にそった正常なご使用状態で万一不具合が生じた場合には、下記保証規定により無料で修理・調整いたします。

●保証の対象部分：時計本体（ムーブメント・ケース）および金属バンド
●保証を受けるための手続き：
保証の対象となる修理・調整は、時計とお保証書とを ご持参・ご提示のお買い上げ店にご依頼ください。ご離島・ご転居などにより、お買い上げ店での保証が受けられない場合は「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室」に本保証書を添えてご依頼ください。
●保証の適用期外：
上記の保証期間内であるいは保証対象部分であっても、次のような場合には有料修理になります。
・電池交換（取扱説明書をお読みください）。
・誤ったご使用や不注意による故障または損傷、および不当な修理や改造による故障または損傷
・火災・水害または地震など天災地変による故障または損傷
・ご使用中に生じる外観上の変化（ケース・ガラス・バンドのキズなど）
・本保証書に販売店印およびお買い上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
・本保証書のご提示がない場合

■使用上のご注意とお手入れについて

●製品取扱上のご注意

⚠警告

●次のような場合、ご使用を中止してください。
・時計本体やバンドが肌食などにより肌荒になった場合
・バンドのピンが飛び出てきた場合
※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
●乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。
部品や電池を 誤飲 万が飲みこんでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、医師に直ちに相談ください。ただちに医師にご相談ください。
●時計から二次電池を取り出さないでください。
電池の交換には、専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
一般の取扱説明書 誤飲 万が飲みこまれると、腐蝕、発熱、発火などのおそれがあります。
●この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。
スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用ください。

⚠注意

●以下の場所での携帯・保管は避けてください。
・揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
・5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
・高湿度のところ
・磁気や静電気の影響があるところ
・ホコリの多いところ
・強い振動のあるところ
●アレルギーやかぶれを起こした場合
ただちに時計の使用を中止、皮膚科など専門医にご相談ください。
●直接ゼロから水をかけることは避けてください。
水道水は非常に水圧が高く、
日常生活用強化防水の時計でも
防水不能になるおそれがあります。
●水分のついたまま、ボタンを操作しないでください。
時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
●水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。
●入浴やサウナの際には使用を避けてください。
美美や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
●その他のご注意
・商品の分解・改造はしないでください。
・乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
・使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
・腐げ時計やベンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

●お手入れについて

日ごろから こまめにお手入れしてください。
・水分や汗、汚れはご まめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
・海水につけた後は、必ず真水で よく洗ってから ふき取ってください。
その際、直接竜口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどして から洗ってください。
※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を裏ぶたでご確認の上ご使用ください。

表ぶたの表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないでください。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での（ 水滴がかかる）程度の環境であれば使用できます。 ※警告 水泳には使用しないでください。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で10 (20) 気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。

●バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド
・ステンレスバンドも水や汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
・手入れが悪いと、かぶれやウイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
（時計本体はふくめないように、歯用リップなどで保護しておきましょう。）
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
・万が一、ピンが飛び出ている場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド
・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
・水がかかったときや汗をかいたときは、すぐに拭いた布などで、吸い取るように軽く ふいてください。
・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
・色の濃いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
・時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフューバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド
・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化を性質があります。
・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
（時計本体はおにぬれないように、歯用リップなどで保護しておきましょう。）
・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて
バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて
バンドは多少余裕をもたせ、適気性をよくして ご使用ください。
時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

■アフターサービスについて

●保証と修理について

・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
・保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
・保証期間経了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

●補修用性能部品について

・この時計の補修用性能部品の保有期間は 通常 7 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

●点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

・長くご愛用いただくために、３年～４年に１度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。
ご使用状況によっては、潤滑により表示消えが生じることがあります。
またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗やや水分の侵入などで防水性能が損なわれる場合があります。
点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやは ねまの交換もあわせてご依頼ください。
・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

■使用電源について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。
二次電池とは、乾電池やボタン電池のように使い切っての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。
長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下し持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出しください。

⚠警告

●二次電池は取り出さないでください。
・二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
● 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

⚠警告

●過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

●充電時のご注意

・充電の際、蛍光灯ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
・太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
・時計が50℃以上にならないようにしてください。

●その他：
・修理の際、ムーブメントを交換したり、ムーブメント・ケース・文字板・針・ガラス・りゅうず・ボタン・バンドなどに外観の異なる代替部品を使用する場合があります。また、ケースごとの一式交換や、修理が困難な場合は同等品との交換による場合もありますので、あらかじめご了承ください。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

弊社製品についての修理その他のご相談は、「お買い上げ店」でうけたまわっております。なお、ご不明の点は下記へお問い合わせください。

セイコーウオッチ株式会社 http://www.seiko-watch.co.jp/

全国共通フリーダイヤル 0120-181-671

お客様相談室
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

受付番号	受付年月日	サービス内容	修了印

製品仕様

計測機能	高度、気圧、温度、方位
クロノグラフ機能	1/100 秒、最大 23 時間 59 分 59 秒 99
ラップ/スプリット機能	最大 60 ラップ
タイマー機能	2 ch リピートタイマー
アラーム機能	3 ch デイリーアラーム
性能防水	10 気圧防水
作動温度範囲	-10℃ ～ +60℃
表示温度範囲	0℃ ～ +50℃
携帯精度	平均月差 ±20 秒 （気温 5℃～ 35℃において）

素材

ケース	プラスチック
ストラップ	ポリウレタン
ガラス	ミネラルガラス

ソーラー駆動（二次電池内蔵）
持続時間：約 5 ヵ月（フル充電後に光があたらず、高度計を 10 時間／月、方位計を 10 回／週、バックライトを 1 回（3 秒間）／日、アラームを 1 回（20 秒間）、パワーセーブを 6 時間／日 使用した場合）

⚠
水中では絶対にボタンを操作しないでください。浸水により故障する可能性があります。

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

製品の特徴と機能

機能の紹介（本機でできること）

本機は、ソーラー駆動のスポーツウオッチです。３種類のセンサーを内蔵し、高度・クロノグラフ計測機能により移動中の各地点までの所要時間と高度を計測・記録できるほか、方位、気圧、温度を計測することができます。

各部の名称と働き

モードの切替と各モードの機能

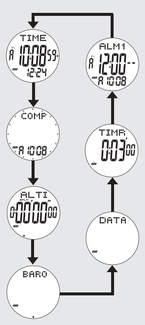
MODE ボタンを押すたびに、モードがタイム、方位計、高度計、気圧計、データ、タイマー、アラームの順に切り替わります。表示したいモードに切り替わるまで **MODE** ボタンを繰り返し押します。モードを切り替えたあと、１秒間（方位計モードは２秒間）はモード名が上段に表示されます。なお、どのモードでも **MODE ボタン**を１秒間押し続けると、タイムモードにジャンプします。

時刻・カレンダー機能（タイムモード）
2つのタイムゾーンの時刻とカレンダーを設定・表示できます。

方位計測機能（方位計モード）
方位を、グラフィックに加え、方位名と北からの角度により表示します。磁気偏角補正機能を備えています。

高度・クロノグラフ計測機能（高度計モード）
高度、ラップ／スプリットタイムを計測し、記録できます。

気圧・温度計測機能（気圧計モード）
気圧と温度を計測・表示します。1時間ごとの気圧の変化をグラフ表示します。



アラーム機能（アラームモード）
アラーム時刻を3つ設定できます。

タイマー機能（タイマーモード）
2つのタイマーが、設定した回数交互に繰り返し計測します。

データ呼び出し機能（データモード）
高度計モードで記録された高度とラップ／スプリットタイムなどのデータを確認できます。

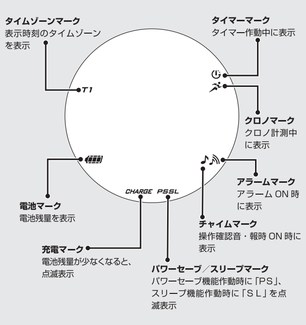
バックライト

LIGHT ボタンを押すとバックライトが３秒間点灯します。

電池残量表示、節電機能

電池マーク（ ）で、電池残量を表示し、残量が少なくなると充電マーク（ *CHARGE* ）が点滅します。
また、光が当たらずボタン操作がない状態が、設定した時間続くと表示を消灯させ消費電力を低減する「パワーセーブ機能（ *PS* を点滅表示）」と、３日間続くと表示が自動的に消灯する「スリープ機能（ *SL* を点滅表示）」が備わっています。

マークの説明



時刻・カレンダー機能（タイムモード）

時刻・カレンダー・パワーセーブ機能などの設定

❶ **LOCK/UNLOCK ボタン**を２秒間押し続けると、秒表示が点滅します。

❷ **MODE ボタン**を押すと、分表示が点滅します。

❸ **START/STOP ボタン**または **LAP/RESET ボタン**を押すと０秒に戻ります。

❹ **START/STOP ボタン**を押すと、点滅している数値が進み、**LAP/RESET ボタン**を押すと、点滅している数値が戻ります。これらのボタンで数値を合わせます。
※押し続けると数値が早送りできます。

❷から❹を繰り返して、分、時、日、月、年の設定、12/24 時間表示選択、コントラスト調整、パワーセーブ機能設定、各種単位の選択を行います。

❺ **LOCK/UNLOCK ボタン**を押すと、点滅状態が終了し、すべての設定が保存されます。
※操作を行わない状態が２～３分間続くと、自動的にすべての設定が保存されます。

❻ タイムゾーンは２つ（T1、T2）設定できます。
LAP/RESET ボタンを２秒間押し続けると、タイムゾーンの切り替わります。❶から❻を繰り返してください。

●コントラスト
ディスプレイ表示の濃淡を調整します。
2（濃い） ⇄ 0 ⇄ −2（薄い）

●パワーセーブ機能（「充電について」参照）
光が当たらずにボタン操作がない状態で、設定した時間が経過すると、表示を消灯させて電池の消耗を防ぐ機能です。OFF、30 分、1・2・4 時間から選択します。

●各種単位の設定
高度計モードで表示される高度（m：メートルまたは Ft：フィート）、気圧計モードで表示される気圧（inHg：水銀柱インチまたは hPa：ヘクトパスカル）および温度（℃：摂氏または F：華氏）の単位を設定します。

U-2: inHg ⟷ hPa
U-3: ℃ ⟷ ℉

操作確認音・報時の ON/OFF

START/STOP ボタンを押すことに、チャイムマーク「♪」がついたり消えたりします。チャイムマーク「♪」がついているときに、操作確認音が鳴り、毎正時に報時します。

アラーム音の確認

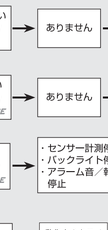
START/STOP ボタンと **LAP/RESET ボタン**を同時に押すと、アラーム音を確認できます。

高度・クロノグラフ計測機能（高度計モード）

■ 現在位置の高度を 10 秒ごとに計測・表示します。クロノグラフ計測中は、ラップ／スプリットタイムを計測することに、計測時間とともに現在位置の高度が記録され、データモードで確認することができます。
※計測データは最大 60 ラップまで記録され、それ以降は保存されません（累積上昇／下降高度を除く）。
※クロノグラフがリセットまたはストップ状態では 12 時間経過後、計測中は 24 時間を超えてクロノグラフが自動停止した後に、高度計測は停止します（「- - - -」が表示されます）。
※高度の単位（ m または Ft）は、タイムモードで設定します（「時刻・カレンダー機能（タイムモード）」参照）。
※高度を計測するときに時計の温度が変化すると、計測に誤差が生じます。時計を腕にはめる等、温度変化の影響を受けにくい状態で計測してください。
※以下の条件下では正しい計測が出来ない場合があります。
1）気象条件により大気圧に変化が生じたとき、2）気温の変化が大きいとき、3）本製品が強い衝撃を受けたとき。

高度計の補正

●本機の高度計は気圧の変化を高度に換算しているため、同じ場所で高度を計測しても、気圧が変化すれば高度の表示も変わります。クロノグラフ計測を開始する前に、正しい高度が分かる地点で高度補正を行ってください。
高度の情報は、地図やインターネット等によっても調べることが出来ます。



❶ **LOCK/UNLOCK ボタン**を２秒間押し続けると、高度補正画面が現れ、高度が点滅します。

❷ **START/STOP ボタン**を押すと、点滅している数値が進み、**LAP/RESET ボタン**を押すと、点滅している数値が戻ります。これらのボタンで正しい高度を入力してください。
※押し続けると数値が早送りできます。

❸ 補正後は、**LOCK/UNLOCK ボタン**を押すと、設定が保存され、高度計モード画面に戻ります。
※操作を行わない状態が２～３分間続くと、自動的に設定が保存されます。

クロノグラフ表示の切替

●**LOCK/UNLOCK ボタン**を押すごとに、クロノグラフ計測表示がラップタイム（LAP）またはスプリットタイム（SPLIT）に切り替わります。走行中に表示させたい表示を選択します。
※クロノグラフが作動している状態（走行中）でも LAP/SPLIT 表示の切替ができます。

クロノグラフ計測の開始・停止・保存・リセット

❶ **START/STOP ボタン**を押すと、クロノグラフ計測を開始します。
※イラストの画面は、スプリットタイム（SPLIT）表示の場合です。

❷ **LAP/RESET ボタン**を押すとラップ／スプリットタイムと現在位置の高度が記録され、ラップ番号が７種previous遡した後計測画面に戻ります。
このあと **LAP/RESET ボタン**を押すごとに、各地点のラップ／スプリットタイムとその高度が記録され、次のラップ／スプリット計測が開始します。

※ラップ／スプリットの計測後メモリーがいっぱいになると、画面上段のラップ番号にかわり「FULL」が点滅表示されます。その後の計測は、表示されますが記録することができません。ただし、累積上昇／下降高度計測は、クロノグラフ計測停止まで継続されます。

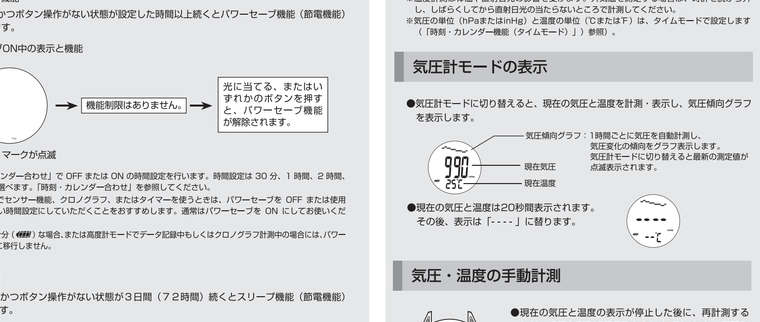
❸ **START/STOP ボタン**を押すと、計測が停止します。再び **START/STOP ボタン**を押すと、計測が再開します。

❹ ストップ状態で **LAP/RESET ボタン**を押すと、表示がリセット状態に切り替わります。

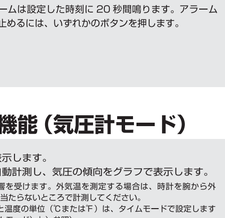
データ呼び出し機能（データモード）

データの見方

●**LAP/RESET ボタン**を押すごとに、高度計モードで記録されたデータが以下の順序で表示されます。
※ラップ／スプリットタイム表示中に押し続けると早送りできます。



●ラップタイムまたはスプリットタイム表示中、**LOCK/UNLOCK ボタン**を押すごとに、表示が互いに切り替わります。



データの更新・削除

●データの更新：
保存データは、新たなクロノグラフ計測を始めるたびに更新されます。

●データの削除：
LOCK/UNLOCK ボタンを押し続けると「CLR」が点滅表示されます。ボタンを離すと計測日画面に戻り、押し続けると、確認音が鳴り保存されていたデータが削除され、「- - - -」が表示されます。

タイマー機能（タイマーモード）

タイマーの設定

❶ **LOCK/UNLOCK ボタン**を２秒間押し続けると、タイマー１の分表示が点滅します。
※タイマーがリセットされていないと、表示は切り替わりません。リセット方法は「タイマーの開始・停止・リセット」をご参照ください。

❷ **START/STOP ボタン**を押すと、点滅している数値が進み、**LAP/RESET ボタン**を押すと、点滅している数値が戻ります。これらのボタンで数値を合わせてください。
※押し続けると数値が早送りできます。

❸ **MODE ボタン**を押すごとに、点滅している表示が切り替わります。
❷から❸を繰り返して、タイマー１の秒・分・時、タイマー２の秒・分・時、リピート回数を設定します。
タイマー２を０秒に設定するとタイマー１のシングルタイマーになります。
※タイマーを設定できる時間は 10 秒～ 9 時間 59 分 59 秒です。
※リピート回数は１～ 99 回まで設定できます。

❹ **LOCK/UNLOCK ボタン**を押すと、点滅状態が終了し、タイマーの設定が保存されます。
※操作を行わない状態が２～３分間続くと、自動的に設定が保存されます。

タイマーの開始・停止・リセット

❶ **START/STOP ボタン**を押すと、タイマーが開始されます。タイマー１のタイムアップ後、タイマー２が開始されます。リピート回数を２回以上に設定している場合はタイマー２のタイムアップ後、引き続きタイマー１が開始されます。
各タイマーはタイムアップ３秒前から予告音が鳴り、その後タイムアップ音が３秒間なります。**いずれかのボタン**を押せば、タイムアップ音は止まります。
タイマー１とタイマー２を交互に繰り返すダブルリピートタイマーです。
※タイマー１とタイマー２では、タイムアップ音が異なります。

❷ 途中でタイマーを止めるには、**START/STOP ボタン**を押します。
※タイムアップ音が鳴っている場合は、いずれかのボタンを押して音を止めた後に、**START/STOP ボタン**を押してください。再開する場合も **START/STOP ボタン**を押します。

❸ タイマー終了後、自動的に設定したタイマー時間にリセットされます。途中でリセットする場合はタイマーをストップした後に **LAP/RESET ボタン**を押します。

アラーム機能（アラームモード）

アラームの設定

❶ **LAP/RESET ボタン**を押すごとに、アラーム番号が切り替わります。
設定したいアラーム番号に合わせます。

❷ **LOCK/UNLOCK ボタン**を２秒間押し続けると、時表示が点滅します。

❸ **START/STOP ボタン**を押すと点滅している数値が進み、**LAP/RESET ボタン**を押すと数値が戻ります。これらのボタンで数値を合わせます。
※押し続けると数値が早送りできます。

❹ **MODE ボタン**を押すと、分表示が点滅します。
❸から❹を繰り返して、時・分の設定、タイムゾーンの選択（T1、T2）をします。
アラームは選択したタイムゾーンの時刻に連動します。

❺ **LOCK/UNLOCK ボタン**を押すと、点滅状態が終了し、すべての設定が保存されアラームが ON になります。
※操作を行わない状態が２～３分間続くと、自動的に設定が保存されます。

アラームの ON/OFF

❶ **LAP/RESET ボタン**を押すごとに、アラーム番号が切り替わります。
ON/OFF させたいアラーム番号を表示させてください。

❷ **START/STOP ボタン**を押すごとに、アラームの ON と OFF が切り替わります。

アラーム音の停止

アラームは設定した時刻に 20 秒間鳴ります。アラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

方位計測機能（コンパスモード）

■ 北の方角をグラフィック表示するとともに、時計の12時位置が向いている方位と北の方位からの角度を表示します。地理上の真北を指すための磁気偏角補正機能があります。

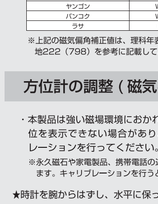
【 方位を計測する際の注意点 】
※強い磁気を発生するものの近くでは正しく方位を計測することができません。
※次のようなものからは離れたところでご使用ください。
例）磁気ネックレス等の水久磁石、金属製のドア、高圧線、架線、テレビや冷蔵庫等の電気製品
※電車や飛行機、自動車などの乗り物の中では正しく計測することができません。
※室内、特に鉄筋の建物内では正しく計測することができません。
※北極や南極に近いところでは計測誤差が大きくなる場合があります。

【 保管場所についてのご注意 】
※本製品が磁気を帯びた場合、正しい方位を計測できなくなる場合があります。永久磁石（磁気ネックレスなど）や家電製品（テレビ、パソコン、冷蔵庫など）や携帯電話などの強い磁気を帯びたものの近くに置かないでください。

方位計測

★方位計測の前に、時計を水平にして、時計の12時位置を方位の知りたい方向に向けてください。

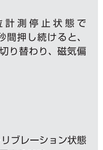
●コンパスモードに切り替えると、方位を計測し、下記のように表示します。



［ 時計の12時位置が東を向いている場合 ］

［ 時計の12時位置が西を向いている場合 ］

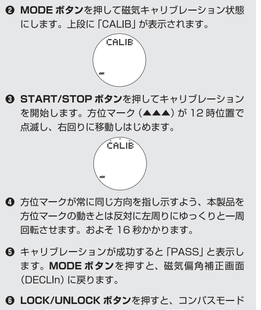
●方位は2秒間隔で20秒間計測され、計測の都度表示が更新されます。計測停止後は、「- - -」が表示されます。
※方位計測中にアラーム音が鳴った場合も、計測は停止されます。



方位の手動計測

★方位計測の前に、時計を水平にして、時計の12時位置を方位の知りたい方向に向けてください。

●方位の計測が停止した後に、再計測するには、**START/STOP ボタン**を押します。コンパスモードの初期画面に戻り、2秒後に方位が表示されます。計測は20秒間続いた後に停止します。



磁気偏角補正

・磁気コンパスは地球の地磁気により磁北、磁南を指し示しますが、磁北と地図上の真北、磁南と真南ではズレがあり、そのズレ量は地域によって異なります。
・各地域のズレを磁気偏角と呼び、この時計は、磁気センサーで計測した方位を磁気偏角分だけ補正することにより、真北や真南を知ることができます。
・各地域の磁気偏角補正値は地図や国土地理院のホームページなどで知ることができます。

❶ 方位計測状態もしくは方位計測停止状態で **LOCK/UNLOCK ボタン**を２秒間押し続けると、磁気偏角補正画面（DECLin）に切り替わり、磁気偏角表示が点滅します。

❷ **MODE ボタン**を押して磁気キャリブレーション状態にします。上段に「CALIB」が表示されます。

❸ **START/STOP ボタン**を押してキャリブレーションを開始します。方位マーク（▲▲▲）が 12 時位置で点滅し、右回りに移動しはじめます。

❹ 方位マークが常に同じ方向を指し示すよう、本製品を方位マークの動きとは反対に左周りにゆっくりと一周回転させます。およそ 16 秒かかります。

❺ キャリブレーションが成功すると「PASS」と表示します。**MODE ボタン**を押すと、磁気偏角補正画面（DECLin）に戻ります。

❻ **LOCK/UNLOCK ボタン**を押すと、コンパスモードの初期画面に戻り、２秒後に方位表示となります。
表示は 20 秒間続き、その後計測停止状態となります。
※操作を行わない状態が２～３分間続くと、自動的に初期画面に戻ります。

❼ また、正しく調整できなかった場合は「Err」と表示されます。その場合は **MODE ボタン**を押して磁気偏角補正画面（DECLin）に戻り、再度上記❷からキャリブレーションを行ってください。

［ 偏角一覧 ］

都市名	磁気偏角補正値［°］	都市名	磁気偏角補正値［°］
グリニッジ標準時	0	ホンコン	W2
ロンドン	W2	北京	W6
パリ	W1	ソウル	W8
ベルリン	E3	東京	W7
アテネ	E3	アデレード	E8
カイロ	E4	コジオスコ	E12
ジッダ	E3	シドニー	E13
ケープタウン	E4	ダーウィン	E12
モスクワ	E10	ウェリントン	E22
ドバイ	E2	ホノルル	E10
カブール	E3	アンカレッジ	E19
カラチ	E1	ロサンゼルス	E13
デリー	E1	デンバー	E9
カトマンズ	0	シカゴ	W3
ダッカ	W1	ニューヨーク	W13
ヤンゴン	W1	サンティアゴ	E3
バンコク	W1	リオデジャネイロ	W22
ウヤ	0	アルバ諸島	W10

※上記の磁気偏角補正値は、理科年表 平成25年版 地218（794）～地220（796）、地222（798）を参考に記載しています。

方位計の調整（ 磁気キャリブレーション）

・本製品は強い磁場環境におかれた場合、磁北の検出が不正確になり、正しい方位を表示できない場合があります。その場合は下記の手順で磁気キャリブレーションを行ってください。
※永久磁石や家電製品、携帯電話の近くでは正しくキャリブレーションができないことがあります。キャリブレーションを行うときは、時計を水平に保ってください。

★時計を腕からはずし、水平に保ってください。

❶ 方位計測状態もしくは方位計測停止状態で **LOCK/UNLOCK ボタン**を２秒間押し続けると、磁気偏角補正画面（DECLin）に切り替わり、磁気偏角表示が点滅します。

❷ **MODE ボタン**を押して磁気キャリブレーション状態にします。上段に「CALIB」が表示されます。

❸ **START/STOP ボタン**を押してキャリブレーションを開始します。方位マーク（▲▲▲）が 12 時位置で点滅し、右回りに移動しはじめます。

❹ 方位マークが常に同じ方向を指し示すよう、本製品を方位マークの動きとは反対に左周りにゆっくりと一周回転させます。およそ 16 秒かかります。

❺ キャリブレーションが成功すると「PASS」と表示します。**MODE ボタン**を押すと、磁気偏角補正画面（DECLin）に戻ります。

❻ **LOCK/UNLOCK ボタン**を押すと、コンパスモードの初期画面に戻り、２秒後に方位表示となります。
表示は 20 秒間続き、その後計測停止状態となります。
※操作を行わない状態が２～３分間続くと、自動的に初期画面に戻ります。

❼ また、正しく調整できなかった場合は「Err」と表示されます。その場合は **MODE ボタン**を押して磁気偏角補正画面（DECLin）に戻り、再度上記❷からキャリブレーションを行ってください。

■システムリセットのしかた

万が一、異常な動きになったときは、システムリセットをすることで正常に機能するようになります。

① MODE、LOCK/UNLOCK、START/STOP、LAP/RESETの4つのボタンを同時に4秒間押し続け、表示が消えたら離します。
② システムリセットが実行されます。

表示がない状態から復帰すると、時刻、カレンダーはカウントを始めます。
正しい時刻で使っていただくために、システムリセット後は時刻合わせをおこなってください。

充電について

充電のしかた

●ソーラーパネルに光を当てて充電してください。

快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。
以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。
・時計が文頼のその中に隠れている。
・光の当たりにくい環境での使用や保管が続く。
※ 充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。
（作動温度範囲は－10℃～＋60℃です。）
※ 使いはじめ